

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成27年10月15日 (2015.10.15)

【公開番号】特開2013-108061(P2013-108061A)

【公開日】平成25年6月6日 (2013.6.6)

【年通号数】公開・登録公報2013-028

【出願番号】特願2012-212123(P2012-212123)

【国際特許分類】

C 0 9 K 3/16 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 L 71/02 (2006.01)

C 0 8 K 5/17 (2006.01)

C 0 8 K 3/24 (2006.01)

C 0 8 G 69/10 (2006.01)

C 0 8 G 81/02 (2006.01)

【F I】

C 0 9 K 3/16 1 0 6 A

C 0 9 K 3/16 1 0 2 F

C 0 9 K 3/16 1 0 2 L

C 0 9 K 3/16 1 0 4 D

C 0 8 L 101/00

C 0 8 L 71/02

C 0 8 K 5/17

C 0 8 K 3/24

C 0 8 G 69/10

C 0 8 G 81/02

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月28日 (2015.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ブロックポリマー（A）及び／又は親水性ポリマー（B）と、フッ素含有界面活性剤（C）を含有してなる帯電防止剤（Z）であって、（A）が疎水性ポリマー（D）のブロックと親水性ポリマー（B）のブロックとを構成単位とするブロックポリマーである帯電防止剤（Z）。

【請求項 2】

（A）が下記の（A 1）及び／又は（A 2）である請求項 1 記載の帯電防止剤（Z）。

（A 1）：ポリアミドと、ビスフェノール化合物のアルキレンオキシド付加物（数平均分子量 300～5,000）及び／又はポリアルキレングリコールからなるポリエーテルとから誘導されるポリエーテルエステルアミド

（A 2）：ポリオレフィンのブロックと、ポリエーテルのブロックとが、エステル結合、アミド結合、エーテル結合、イミド結合及びウレタン結合からなる群から選ばれる少なくとも 1 種の結合を介して繰り返し結合した構造を有するブロックポリマー

【請求項 3】

(B) が、ポリエーテル (B 1) である請求項 1 又は 2 記載の帯電防止剤 (Z)。

【請求項 4】

(C) が、カチオン性界面活性剤である請求項 1～3 のいずれかに記載の帯電防止剤 (Z)。

【請求項 5】

(A) と (B) の合計重量と (C) の重量比 $\{ [(A) + (B)] / (C) \}$ が、 $99.9 / 0.1 \sim 90 / 10$ である請求項 1～4 のいずれかに記載の帯電防止剤 (Z)。

【請求項 6】

請求項 1～5 のいずれかに記載の帯電防止剤 (Z) と、熱可塑性樹脂 (E) とを含有する帯電防止性樹脂組成物。

【請求項 7】

更に、アルカリ金属又はアルカリ土類金属の塩、4 級アンモニウム塩、界面活性剤及びイオン性液体からなる群から選ばれる少なくとも 1 種の帯電防止性向上剤 (F) を含有させてなる請求項 6 記載の帯電防止性樹脂組成物。

【請求項 8】

請求項 6 又は 7 記載の帯電防止性樹脂組成物を成形してなる成形品。

【請求項 9】

請求項 8 記載の成形品に塗装及び／又は印刷を施してなる成形物品。